

北海道網走市の大樹さん

特別住民番号1282

大樹と名前を付けたのは、お母さんのおなかの中にいる時少し小さめで毎日、お母さんが未熟児だったらと心配していました。だから、少し小さく生まれても「樹木のように大きく、すくすくと成長し、おおらかで強く、そして優しい心の男の子に育つことを望み」大樹と命名しました。

もう一つの理由は、お父さん達は転勤族だから「大樹」の生まれた場所をいつまでも“ふるさと”と思えるようにと、当時住んでいた江別市の大麻南樹町から大麻の「大」と南樹町の「樹」とって「大樹」という名前にしました。(父)



青森県黒石市の大樹さん

特別住民番号1284

息子の名前は、大樹です。

雨の日には傘になり、風の日には風除けに、晴れた日には日影をつくる。大きな樹には、虫も鳥も動物も、人間だって集まってくる。そんな、いつも皆の中心にいる人になって欲しい。

と、夫が誰かの請売りらしいのですが、男なら大樹にしようと言いだして、すごく素敵な名前だと、妊娠5カ月で決まっていた。

競馬好きの夫が、時々、実はウマの名前だと話していたのが気になりますが、とても気に入っています。

その後、夫とは離れてしまいましたが、本当にいい名前をつけてくれたと感謝しています。

沢山の友達に囲まれた素敵な人生を歩んで欲しい、毎日、寝顔を見ながらそう思っています。(母)



東京都昭島市の大樹さん

特別住民番号1285

これ以上お腹の中で育ててしまっただけでは、生まれてくる子も生む母も大変よ。そう保健婦さんに釘をさされていたにもかかわらず、とうとうその日が来た時は、3,465グラムという予想通りの大きな子で頭がつかえて、なかなか誕生しなかった。お互いに苦しかったらと思う。

それでも五体満足な我が子の姿を目のあたりにした時は、感激を覚えずにはいられなかった。

既にこの世に生まれてくる前に、名前は決めていた。

父となり母となる私達の中で、名前の中に「樹」という字を入れたいと考えていた。何故といわれても、特に答えとなるようなものはない。しかし、もう名前の半分は決まったも同然であった為、簡単に決定するだろうと考えていた。がここからが時間がかかった。人名漢字の一字一字をはじから手当たりしだいつなぎ合わせどれがいいかと随分と悩んだ。そして、最終的に「大樹」とした時、二人で同時に「いいねこれ」ということで決まった。

大きな木、しっかりと大地に根をはり、ぐんぐんと空高く伸びる大木、雨風にも負けずびっしりと枝を埋めつくす葉、そこには甘い熟した実がつき、枯れゆく葉でさえ腐葉土となり生き物に限りない恵みをもたらす。こんな「大樹」のように育って欲しい。こうして、我が子の名は決められた。

そんな親の願いが届いてか、まだほんの一部ではあるが、とにかく今、丈夫で元気な大きな子に育っている。この後、ますます成長しきつと親を見下ろす程に育つであろ



うが、空洞のない年輪を重ねたりっぱな大樹に成長するよう見守っていきたくて思っている。

ちなみに我が子は、ピカピカの一年生であるがいつも三年生位にみられるりっぱな体格をしている。名は体を表わすとは、よくいったものだ。(母)

北海道当別町の大樹さん

特別住民番号1286

全国の大樹さん、そして大樹町の皆さんこんにちは、私は我が家の長男大樹の父親で大樹と命名したものです。此の度は、ご縁がありまして特別住民とさせていただき、大変感謝しております。さて、大樹と命名の理由ですが、我が家の第一子ということもあり、少々子供に期待する気持ちもあったかもしれませんが、次のような事を思い出しました。



1. 自分は子供のころガキ大将でしたので、男の子は少々元気なほうが良いとの思い(大樹～将軍を表す)。
 2. 風雪に耐える大きな木のように育ってほしい(大樹～大きな人間)。
 3. 叱るとき叱りやすい名前(コラータイキー)。
 4. 偶然ですが生まれたこの年(平成3年)の男の子の名前で大樹が第2位でした(北海道新聞によります)。
- ※名は体を表わすと言いますが、我が家の小さな木ははたして大樹になれるかどうか、末長く見守って下さい。(父)

東京都大田区の大樹さん

特別住民番号1288

私は、大のタイガースファンで二児の父親です。初めの子には男児だったら「大河(たいが)」という名にしようと思っていました。生まれる前の年にタイガースが日本一になり「大河」という名にかなり入れ込んでいたのですが、生まれた子は女児でした。みんなに愛されるようにと菜の花の季節にはちょっと早いけど「花菜(かな)」と付けました。次の年の12月に下の子が生まれましたが今度も女児のような気がして「実季(みき)」と付けようと考えていました。花を咲かせた後は実をならそうと、それに「季」には12月という意味があったからでした。ところが男児だったので今度こそは「大河」と付けようと思いましたが、その年のタイガースの成績が不振だったので妻に反対されて叶いませんでした。そこで「実季」を「樹(みき)」として「樹」だけでは男の子にしては優しすぎるので「大河」の「大」を取って「大樹(たいき)」と命名しました。字のとおり大きく頼りがいのある人になって欲しいと願ったからでした。



一年生の夏頃迄は、小さくてきゃしゃで名前とは程遠かったのに、夏を境にどんどん大きくなって、六年生の今では保育園の頃を知っている人からは前の大樹君から全然想像できないと言われるようになりました。

今日の寄稿に当たり、誕生日の昭和62年12月16日、数字だけを並べると621216上から読んでも下から読んでも同じと言うことを発見しました。それに12月16日は「ベートーベン」と同じ誕生日でした。

これからは体だけでなく、思いやりのある大きな心を持った大樹になって欲しいです。又、大樹の希望でもある北海道の大樹町への家族旅行早く実行に移したいです。(父)

山形県白鷹町の大樹さん

特別住民番号1289

ぼくの家は、山形市から車で30分位の所にあります。
白鷹町立鷹山小学校の四年生です。「大樹」と、名前を付けてくれた



のは、おじいちゃんだそうです。いっしょに、お風呂に入った時「どうして大樹と名前をつけたの。」と聞いた事があります。おじいちゃんは、若い頃から町の森林組合の職員で30年以上も山のお仕事をしたそうです。前から、孫に男の子が生まれたら「大樹」と名前を付けたいと考えていたそうです。「たくましく素直に育て、大きい心を持った人になってほしいと願って付けた名前だから、名前負けしないように、いっしょうけんめい勉強しなさい。」と、教えてくれました。そして大きくなった大樹とお酒を飲むのを楽しみにしていると言いました。

ぼくは、病院でとか、知らない人から、よく「だいき君」とよばれて、いつも「たいき」なのに一と思っていました。同じ名前の町があると知った時、とてもうれしかったです。そしてぼくは、宇宙の事についても興味があるので宇宙の色々な研究所があるなんて本当にすごい町だなあと思いました。まだ北海道に行った事はありませんが、当別町に親せきがあるので、いつか遊びに行った時、大樹町にもぜひ行ってみたいです。特別住民になって、うれしいです。

北海道小樽市の大樹さん

特別住民番号1301

名前は父親が付けてくれました。

丘の上に立つ一本の大きな樹のようにどっしりと雨風にも負けることなく、強くたくましく育ててほしいとの願いを込めてつけられた名です。

とってもベタな話ですが自分としては、親はいろんな期待や思い、願いを込めて子供に名前を付けますがその期待に応えられたのかなと思うこともあります。

最初に書きましたが大樹の名は父親が付けてくれました。

父は私が小さい時にはもういませんでしたが、すこしだけ一緒に遊んだりした時の記憶はあり、25歳になった自分は父の付けた名前のように、とまではいかないかもしれませんが、折れることなくなんとかやってこれたのでは、と甘い考えでいるのです。

つまらないことを書きましたが、今回のこの「大樹さん募集」の企画によって、普段あまり考えることのない名前の意味、由来など知るいい機会になりました。

これからも、このような楽しい企画があることを期待しています。



北海道上富良野町の大樹さん

特別住民番号1319

名寄市大室産院にて昭和53年7月28日「大樹」と命名して早21年がすぎております。その息子より「大樹町より命名についての原稿が来たよお。母さんのむよ」と言われ、私もすぐ「いいよ」と返事をしてしまいました。本当なら本人が原稿を作成しなければいけないのですが母親の私から一言のべさせていただく事を承知願いたいものです。

命名の由来については、私の独断で決定しました。それは単に小さく生まれてきた我が子を見て、これは大変、なんとか元気で大きな子になってほしいと思う気持ちで命名したのが“大樹”なのです。

大樹町については私は地名にあるなど知りませんでした。その頃帯広の近くで幸福駅が有名になり、地図を広げて見ていると大樹町を発見。「あっ同じ名前があった」これは一回行ってみなければと思い、二歳の時大樹町に寄らせていただきました。これが一つ目のエピソードです。二つ目は、大樹町の皆さまには申し訳ありませんが3歳の時、息子の姓名判断をしてもらいました。「字画が悪いですよ。災難・ケガなどに気をつけて下さいよ」と言われ、大樹3歳で実印をつくりました。その大樹も今では21歳で結婚をし世帯主と成り、子供も一人生まれ、その時作った実印を今使用しています。あの時は、随分とはやまったものだったけど今は、良かった！ 大樹には妹がいます。大樹にならえとばかりにつり合う名前を私が考え「梢」としました。兄妹仲良く、大樹夫婦も仲良くやっております。

最後にこのような企画をして下さってありがとうございます。命名した私も感謝、感激



であります。

私の一生の宝物が現在進行中です。(母)

神奈川県大和市の大樹さん

特別住民番号1320

我が家の長男、大樹(だいじゅ)。

生年月日 昭和60年8月6日 原爆記念日

大樹がお腹に居る間、私の体重は増える、増える……。その甲斐？
あつてか、3,640gとやや大きめの赤ん坊でした。

出産時の院長先生の第一声は、「おー大きいナーー!!」

次に、看護婦さん、「お腹は、小さかったのにネー」と一言。

無事に元気な顔を見て、産声を聞く事が出来ました。…が、ホツとしたのも束の間、
よくよく考えてみれば、まだ決めていなかった…名前!?

喜びから「ヤバイ!! どうしよう!!」と気持ちは、一瞬にあせりへと変わりました。…が、
あせったのも束の間、よくよく考えてみれば、届け出すのに2週間あるから、じっくり考
えよう!!

それから、頭の中には名前が浮かんで消え、浮かんで消えの日々。そして、い
よいよ退院の日。

昭和60年8月12日、この日は、日航のジャンボ機が墜落し、520名の方が犠牲となっ
てしまった、あの悲惨事がおきた日でした。

原爆記念日とジャンボ機墜落……どちらも、おおぜいの方々が尊い命を奪われた日
です。

何だか、犠牲となってしまわれた方々の大きな力を頂いた様な気がしてなりません
でした。

「大樹」何事にも負けない強い人に、誰にでも親切で、誰からも好かれ、心身共に大
きく育てほしい……そんな願いを込めて。(父・母より)



北海道室蘭市の大樹さん

特別住民番号1328

僕の大樹(ダイキ)という名前について父に聞いたところ、父は
「長男だったから、森家の大きな木になって欲しいという願いをこめて
命名した。」

と教えてくれましたが、母に聞くと

「お前が私のおなかの中にいる時、私が勝手に、ダイちゃんと話しか
けていたので、そのままダイキになったのヨ。」

と教えてもらいました。

父と母の話のくい違いについては、それ以上聞きませんでした。

